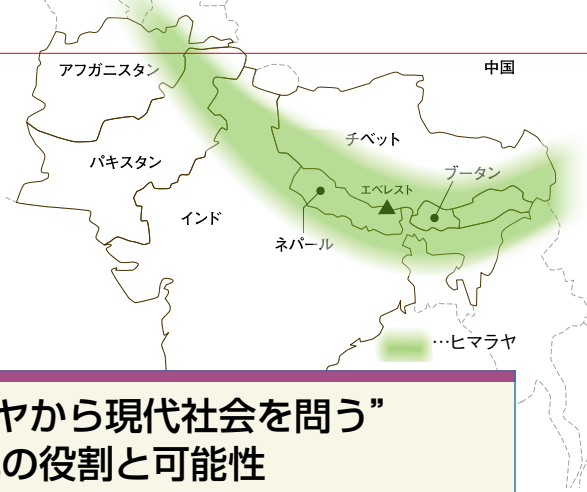


◆ヒマラヤについて

ヒマラヤ地域は、インド亜大陸とチベット高原を隔てている東西2400km、南北250kmに及ぶヒマラヤ山脈とその周辺地域一帯を指し、インダス河、ガンジス河、長江の水源です。地域には世界最高峰のエベレストを初め7,000m以上の山が140以上ある上、大森林地帯には多種多様の動植物が生息しています。多様な民族が独自の文化・習慣を現在も保って暮らし、仏教・ヒンズー教はこの地域が発祥の地です。深遠な精神文化は世界の注目を集め、また、雄大な自然に挑む冒険家たちが世界中から訪れています。

ヒマラヤは、今日、地球上の共通の問題を映し出す“鏡”ともなっています。環境の変化が深刻で、地球温暖化により氷河が急速に融けつつあります。また上流域での開発が下流域で洪水を引き起こしています。さらに、チベット問題などの民族弾圧、紛争なども看過出来ない問題となっています。



稲妻の証言

招待作品 English Available The Lightning Testimonies

監督：アマル・カンワル/2007/インド/113分



紛争の中の暴力を詩的に描く大作。
悲痛な歴史の中にも人間の強靭さと尊厳が輝く。

インド、40年代のインド・パキスタン分離独立から現在まで続く、紛争を背景にした女性への性暴力の戦歴の歴史。ナレーション、字幕、スケッチ、写真、無人の風景など様々な手法を駆使した表現で肉迫し、暴力の残虐さと女性たちの尊厳ある強靭な精神とを描く力作。美しい静寂の画と静かな声が暴力の惨さを一層際立たせる。様々な、時代、社会においてインド各地の個人や社会がいかに暴力に耐え、記憶に刻み、記録に残してきたかを入念にリサーチを通して浮かび上がらせ、やがて苦難の先にある静かな祈りに至る。

盲目のクライマー

English Available Farther than the Eye Can See

監督：マイケル・ブラウン/2003/アメリカ/75分

世界初、盲目の男性が世界最高峰・エベレストをめざす。氷河、垂直の岩壁など、死と隣り合わせの挑戦は、愛する妻も子どももいる彼にとって一体何を意味するのか。誰も想像し得ない感動と興奮がエベレストの頂きへと集約されていく。ハイビジョン撮影による世界最高峰の映像も美しい。



残すのは足あとだけ

English Available Leave Nothing but Footprints

監督：サンジェイ・バーネラ(20日シンポジウム・パネリスト) 2007/インド/36分

観光は地元雇用の増やし国庫を潤す一方、ごみ、自然破壊、インフラ不足などの問題をもたらす。インド国内のヒマラヤの様々な観光地の現状と改善への取り組みを見つめ、自然・文化・経済に優しいエコフレンドリーな観光とは何かを考える。



シアチェンー氷河の戦闘

English Available Siachen A war for Ice

監督：フルヴィオ・マリアーニ & マリオ・カゼッラ 2006/スイス/52分

ヒマラヤ山中、標高6000メートルに位置するシアチェン氷河を巡ってインドとパキスタンが20年以上戦闘を繰り返している。国境線なのだ。両国は自らの正当性を繰り返すばかり。この超高所での“馬鹿げた”戦闘の解決の糸口はあるのだろうか？



国際シンポジウム “ヒマラヤから現代社会を問う” 世界の矛盾とヒマラヤ文化の役割と可能性

本映画祭上映作品の作家や学術研究者など世界の有識者と共にヒマラヤの多様な価値と諸問題を考え、現代社会におけるヒマラヤ地域の文化の普遍的役割のメッセージを世界に発信するシンポジウム。

The symposium: “Questioning the contemporary world from the Himalayan world: the contradiction in the global community, the possibility and role of the Himalayan culture.”

English Available

開催日時：11月20日(土) 午後6時～

※映画祭のチケットやフリーパスで入場できます。

パネリスト：サンジェイ・バーネラ
(インド・ドキュメンタリー監督)

ドゥルバ・バスネット
(ネパール・ジャーナリスト)

ウゲン・ワン (ブータン・映像作家)

南 真人 (日本・国立民族学博物館 准教授)

辻村 優英 (日本・高野山大学研究員・宗教社会学者)



サンジェイ・バーネラ ドゥルバ・バスネット ウゲン・ワン

コーディネーター：田中 邦彦 (日本・ジャーナリスト)

※当日は逐次通訳方式で日本語と英語に対応します。

※やむなき事情によりパネリストの変更が生じる場合もあります。

※本シンポジウムは独立行政法人国際交流基金の「知的交流会議助成プログラム」の助成を受けています。



歌声はヒマラヤのあなたに

Bhedako Oon Jasto... in search of a song...

監督：キラン・クリシュナ・シュレスタ/2004/ネパール/56分

ヒマラヤ山中で聞いた民謡が忘れられないジャーナリスト。その歌を彼から聞いた友人のミュージシャンは新しいアルバムに収録することを切望する。一行はメロディに惹きつけられるようにヒマラヤの奥地へと民謡のルーツを探しに旅立つ…そこには数々の出会いが待っていた。



尼僧の智慧

Daughters of Wisdom

監督：バリ・パールマン/2007/アメリカ/70分

チベットの僧院では伝統的に男性が修行と教育の中心的な役割を果たしている。しかし、ナチエン地方のカラロンゴ僧院では、前例の無いことに約300人の尼僧が修行と教育を受け、チベット文化を守る役割を担う。尼僧たちの知られざる日々々に密着した心を浄化するドキュメンタリー。



English Available Indian Journeys: Shiva's Matted Locks

監督：ヒュー・トムソン/2000/インド/50分

ガンジス河で12年に一度催される大祭ークンブ・メラ。インド中から1千万人もの人々が一堂に会す。著名なスコットランド人の旅が今ここから始まる。めざすはヒンズー教の聖地・ヒマラヤ山中のガンジス源流…。聖と俗、神秘と現実が交差する現代インドの聖地巡礼のありのままを描く。



コーラと少年

Journey of a Red Fridge

監督：ルシアン・マンティン & ナターシャ・スタンコヴィック 2007/セルビア/52分

17歳のハりは学費と生活費を稼ぐために、ポーター(荷物運び)として働いている。今回の荷は巨大なコーラの業務用冷蔵庫。それをヒマラヤの山奥から麓の街まで運ばねばならない。彼の生活苦、将来の夢が、6万人とも言われるネパールの“子供ポーター”たちのそれと重なる…



ヒマラヤ国際映画祭WEST JAPAN 2009の会場アンケートより

- 心が熱くなりました。2009年ヒマラヤ国際映画祭 WEST JAPAN →
- すばらしい活動!心から応援しています。
- マスコミで報道されないニュースをこれからも発信してってください。
- 世界各地の人間の生き方を、映画の持つ力で世界の多くの人に発信されたい。
- 普通では見ることができない貴重な映像を見ることができ、とても感銘を受けました。
- チベット映画は見たことがありましたが、今回ほど幅広く、ヒマラヤの山岳周辺地域の様々な国、文化、テーマでの映画をまとめてみる機会はありませんでした。

